

神奈川県立金沢文庫開館95周年特別展

金沢八景みほとけ巡礼

仏像からよみとく金沢の歴史

令和七年 九月五日(金)～十一月九日(日)



菩薩坐像
奈良時代 龍華寺 横浜市指定有形文化財
金沢に伝来した最古の仏像(脱活乾漆造)
撮影：野久保昌良氏

金沢ゆかりの仏像を
一堂に展示
金沢の仏像を通して
日本彫刻史を知る

【開館時間】 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】 毎週月曜日(ただし9月15日、10月13日、11月3日は開館)
9月16日(火)、9月24日(水)、10月14日(火)、11月4日(火)

【観覧料】 (一)内は20名以上の団体料金

20歳以上6000円(5000円) 20歳未満・学生5000円(4000円)

65歳以上2000円(1000円) 高校生1000円、中学生以下・障がい者の方は無料

【主催】 神奈川県立金沢文庫
【協力】 横浜市金沢区役所

神奈川県立 金沢文庫

〒236-0001 神奈川県横浜市金沢区金沢町1-4-2

TEL 045-701-9069 FAX 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>

【交通】 京急線(金沢文庫駅)東口より徒歩12分(快特は品川駅より33分) 横浜駅より16分
シーサイドライン「海公園南口駅」より徒歩10分(JR根岸線 新杉田駅接続)

神奈川県立金沢文庫
開館 95 周年特別展

金沢八景 みほとけ巡礼

仏像からよみとく金沢の歴史

令和 7 年 9 月 5 日(金)～11 月 9 日(日)

現在、神奈川県立金沢文庫が所在する神奈川県横浜市金沢区は、かつて「武蔵国六浦荘金沢」と呼ばれ、中世には都市・鎌倉の外港として栄えました。そして近世には金沢の内海の名勝は、金沢八景と称され、風光明媚な景勝地として多くの人々が訪れました。

本展覧会では、金沢の内海周辺に建立された由緒寺院と、そこに安置された仏像を通して、中世金沢に展開した寺院の実態や、その後の金沢八景を中心とした巡礼寺院としての位置づけなどを明らかにしたいと思います。

※文化財保護のため会期中一部展示替えがある場合がございます。詳細は HP でご確認ください。

【特別講演会・講座】

特別展「金沢八景みほとけ巡礼」に関連して、特別講演会・月例講座なども開催します。詳細は HP でご確認ください。

神奈川県立 金沢文庫

〒 236-0015
神奈川県横浜市金沢区金沢町 142
Tel 045-701-9069 fax 045-788-1060
<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>

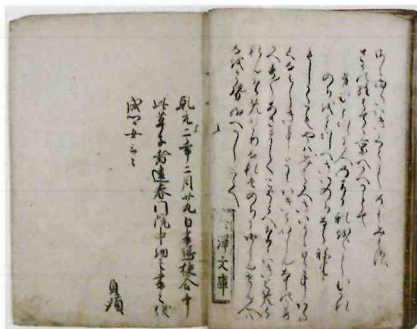
次回予告

特別展
「金沢文庫」創設 750 年記念

金沢文庫本

一流離う本の物語

令和 7 年 11 月 14 日(金)
～令和 8 年 1 月 18 日(日)



『たまきはる』 乾元二年(1303) 神奈川県立金沢文庫 重文
金沢貞顕が自筆で奥書し金沢文庫印が押される



阿弥陀如来坐像及び両脇侍立像
久安三年(1147) 宝樹院 神奈川県指定重要文化財
金沢の古層を物語るみほとけ



大威徳明王像
運慶作
建保四年(1216)
光明院(神奈川県立金沢文庫管理)
重要文化財
金沢に伝来した
運慶真作



陵王面 鎌倉時代 瀬戸神社 重要文化財 金剛製要明王坐像 永仁五年(1297) 称名寺 重要文化財 薬師如来坐像 鎌倉時代 東光禅寺 横浜市指定有形文化財
運慶工房作の舞楽面の傑作 技巧を尽くした中世金銅仏 湛慶作と伝承される初期慶派のみほとけ



方座元圭坐像 南北朝時代 金龍院 神奈川県指定重要文化財 薬師如来立像 鎌倉時代 太宰寺 横浜市指定有形文化財 弥勒菩薩坐像 明応九年(1500) 龍華寺 横浜市指定有形文化財
謎の寺院・旧能仁寺ゆかりの肖像 釈迦・薬師・阿弥陀を兼ねた霊験仏 金沢の中世転機期の重要なみほとけ



地藏菩薩坐像 南北朝時代 三宝寺 横浜市指定有形文化財
鎌倉・建長寺本尊のかつての姿を伝える



地藏菩薩立像 康増作 永仁二年(1294)
光傳寺 神奈川県指定重要文化財
金沢の地藏信仰の中心的なみほとけ



地藏菩薩坐像 朝采作 永徳三年(1383) 林際寺(静岡県)
伊豆に伝来した新発見の旧能仁寺本尊